

Japan-Expertプログラム(ヘルスケアコース)入学後の学生における標準履修モデル

入学

	1年		2年		3年		4年		単位
	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	
基礎科目	Japan-Expertファーストイヤーセミナー(1) 学問への誘い(1) 日本語(15)		ファーストイヤーセミナー(1) 学問への誘い(1) 学士基礎科目、第2外国語(1~4)						19~22
			体育(柔道1、弓道1)						2
			英語(4)						4
			情報リテラシー(講義)(1) 情報リテラシー(演習)(1) データサイエンス(2)						4
			他学類の開設科目(専門科目および専門基礎科目に該当する科目は除く)(5~8)						5~8
	Japan-Expert共通科目(他コースの共通科目より選択)(1)								1
専門基礎	人体機能学(2)、人体構造学(2)、医療生命科学与テクノロジー(1)、日本国憲法(2)、Japan-Expert総論(1)		人間関係論(1)、心の健康と相談活動(1)、行動科学(1)、コミュニティ・エンバウメント論(1)、人体の代謝と栄養(1)、臨床薬理学(1)、遺伝と健康(1)、微生物学(2)、保健統計学(2)、疫学(2)、障害理解(1)、老化と健康(1)、疾病の治療と看護Ⅰ・Ⅱ(4)、子どもの健康と障害(1)		看護専門英語(1)、保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ(2)、国際保健学(1)				32
	看護学類以外の開設科目(選択10) 知識情報概論(1)、知識情報システム概説(1)、社会福祉経営論(2)、文化・開発論(2)、国際学Ⅱ(1)、社会保障論Ⅰ(2)、情報社会と法制度(2)、コンピュータシステムとネットワーク(2)、等				選択科目(選択1) 医療経済学(1)、環境保健(1)				11
専門科目	基礎看護学概論(1)、看護生命倫理(1)、公衆衛生看護学概論(2)、高齢者看護学概論(1)、精神看護学概論(1)、生涯発達と家族支援(2)		基本看護技術(3)、基本看護技術演習(2)、フィジカルアセスメント(2)、看護過程(2)、臨床看護学概論(1)、子どもの発達支援学概論(1)、ウィメンズヘルス看護学概論(1)、高齢者看護方法論(2)、職域における保健活動(1)、家族病理とメンタルヘルス(1)、国際看護学(1)、看護学探究概説(2)、国際ヘルスケア概論(1)		臨床看護方法論(3)、子どもの発達支援方法論(2)、ウィメンズヘルス看護学方法論(2)、地域・在宅看護論(1)、地域・在宅看護方法論(2)、精神看護方法論(2)、ヘルスプロモーションと看護(1)、災害看護学(1)、看護マネジメント(1)、研究方法概論(2)、ヘルスケア実習Ⅰ(介護施設)(4)		国際ヘルスケア実習(卒業研究)(4)、ヘルスケア実習Ⅱ(医療施設)(4)		57
単位数	16	40程度	45程度	26	8	135			

卒業

就職先
ヘルスケア分野の政策・管理者および研究・教育
さらには健康管理関連企業の開発技術者等で活躍

自主学習 初年次教育の日本語学習に加え、卒業時まで「CEGLOC日本語教育プログラム」の履修が可能
⇒就業力のある日本語能力の獲得のため4年間継続して学習

- ・日本語を徹底的に履修(4年間通した日本語学修【CEGLOCの日本語教育】が可能)
- ・Japan-Expert総論(共通専門基礎科目)を設け、1年次春又は秋から履修
- ・各プログラムからの推奨科目を集めたJapan-Expert共通科目(基礎科目・関連科目)を設け、1年次春又は秋から履修
- ・国際ヘルスケア概論、国際ヘルスケア実習を新設